

大麦特報 (第3号)

令和2年2月
なのはな農業協同組合
富山農林振興センター

本年は積雪がほとんどなく、葉色は平年より淡くなっています。
排水溝の手直しや適切に追肥を行い、今後の生育量を確保しましょう。

1 排水溝の点検・手直し

水が停滞しているほ場では、湿害（根腐れ症状）で茎数が少なくなっています。

排水溝の手直しを行うとともに、深く掘り下げた排水口への連結を徹底しましょう。



排水溝を手直しして、溜まっている水を早く排水しよう！



排水溝の連結や排水口の掘り下げも忘れずに！

2 消雪後の追肥（分施体系のみ）

大麦の生育を回復させ、適正な茎数・穂数を確保するため、適切に追肥を行いましょう。

時期 2月上旬～中旬を目安に

施用量 硫安 20kg/10a

※茎数が多い場合（土が見えないくらい繁茂しているようなほ場）は、施肥量を減らしましょう。

※肥効調節型肥料(LP大麦48号)を施用した場合は、原則追肥は不要です。

ただし、極端に葉色が薄い場合は農協や農林振興センターにご相談ください。